

八王子市立学校に設置する学校運営協議会の運営状況について

指定	平成19年度指定			平成20年度指定			
	東浅川小学校	第六中学校	宮上中学校	陶鎔小学校	浅川小学校	元八王子中学校	城山中学校
目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の豊かな経験や知識を活用し、学びの場を広げ、一人ひとりが生き生きと学ぶことができる学校づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画に基づく経営への支援。 ・学校経営計画の諸方策への支援。 ・学校関係者評価の適切な実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の心を育む企画及び提案。 ・運営協議会の6年間の総括と今後の方向性。 ・多摩ニュータウン地域運営学校との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導、家庭学習等による基礎学力の定着。 ・図書室の環境整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と保護者、地域が手をつなぎ合い、心豊かで、地域を愛し、地域に生きる子どもの育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教職員との意思疎通。 ・生徒の学力向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した学校運営の継続。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域参画型の体験的活動である「夏楽校」の実施。 ・学習ボランティア育成計画の作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の学校評議員を含む拡大学校運営協議会の実施。 ・学校評議員との合同研修会実施。 ・地域総合防災訓練の運営。 ・地域向け説明会の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮上中学校区による合同学校運営協議会を開催。 ・修学旅行及び卒業アルバムの業者選定。 ・長野県両小野学園への視察及び同校からの視察受け入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の運営についての協議。 ・クリーン大作戦の実施。 ・PTAと連携した挨拶運動。 ・どんぐり山の橋の修復工事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅川中学校と合同の「あいさつ運動」を年3回実施。 ・PTAと合同の広報誌「月刊あさっこ」を発行。 ・日本語検定2回実施。 ・「いちようまつり」への出店。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援、検定サポートの実施。 ・学校運営協議会だよりの作成、ホームページへの議事録の掲載。 ・生徒会、保護者、教職員との交流会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校要覧の編集支援。 ・「学校運営協議会だよりの発行。 ・吹奏楽部のコンサート支援。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上への取り組みを行うことができた。 ・地域参画型授業や「夏楽校」等の活動を通し、子どもたちの郷土愛が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が積極的になり、提案する事案が増加した。 ・教職員の学校運営協議会への参加率が増加するなど意識の向上。 ・地域総合防災訓練への参加による、生徒の学校運営協議会への理解の深まり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少対との連携強化。 ・教職員の地域防災活動への参加など、協働意識の向上。 ・教職員とPTA学習支援部と連携して英検、数検、漢検を実施するなど学力向上に向けた取り組み。 ・英検、漢検の実施による生徒の学習意欲の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材発掘による学校とのパイプ役としての役割の定着。 ・学校評価や校内研究への協力体制が構築された。 ・学習支援による子どもたちの学習意欲の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「浅小応援ボランティア」活動の活発化による教育活動への支援増加と人間関係の深まり向上。 ・子どもたちが「いちようまつり」に参加し、協働意識が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援、検定サポートにより、生徒の学習意欲の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練に生徒が参加したことで、身近で頼りになる学校である意識の向上。 ・生徒の問題行動を未然に防止するための生活指導担当職員と連携向上。 ・地域合同防災訓練への参加により、生徒が地域のことを考えられるようになってきた。 ・3年生全員が救命技能認定証を取得し、防災意識が向上した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに適したボランティアの育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の限られた時間内での効率的な審議。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英検及び漢検の今後の行いたい方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動の中に地域の教育力を生かす。 ・第三者評価の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅川中学校との連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の発掘及び育成。 ・学習支援ボランティアの拡充。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒への対応。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ボランティアに対する研修。 ・ボランティアの育成方法の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回地域総合防災訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熟議による意見交換。 ・文部科学省主催の研修への参加と近接地視察。 ・多摩ニュータウン地区学校運営協議会との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災体制の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浅川中学校と合同の学校運営協議会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員や支援ボランティアの発掘、確保。 ・本校卒業の大学生や社会人への協力要請。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の発掘。

指定	平成21年度指定					
	梶田小学校	中山小学校	宮上小学校	下柚木小学校	第一中学校	陵南中学校
目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者、教職員が連携し合い、一緒に子どもを育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が子どもを「共に育てる」という理念をもつ教育活動の充実。 ・保護者や地域住民が学校教育に参加、参画できるオープンな学校。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域住民のニーズを学校経営に反映させ、地域の中の学校として位置付ける。 ・「小中一貫教育」を推進し、学校活性化の効果を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ0を目指して。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価システムの確立。 ・防災教育等を通じた保護者及び地域との連携の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域が一体となった学校教育の実現。 ・地域人材の積極的活用。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の実施。（梶小コミュニティの発行） ・全体会、分科会の開催。 ・コミュニティ・ファンドの立ち上げ。 ・学校運営協議会主催の防災訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア団体による学校支援。 ・「学校キャンプ（避難所体験）」を夏季休業中に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の結果の改善策協議。 ・小中一貫を見据え宮上中学校校区合同で協議会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の改革支援。 ・学校の課題に対する熟議の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員が授業や教育活動を視察。 ・「第一中学校関連団体連絡協議会」の立ち上げ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域理解と学校運営協議会委員との交流の場として、教員とともに学区を歩き地域理解を深めた。 ・漢検、英検を実施した。 ・学校教育活動への支援協力及び不登校生徒の支援。 ・地域各種団体との連携強化に努めた。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りとの交流を通して地域のお年寄りが好きな子どもたちが増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもの「共に育てる」という意識が高まった。 ・オープンな学校としての認識が地域に広まった。 ・高学年の児童を中心に地域に貢献しようという雰囲気が見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校改善の話し合いを重ねることで保護者の信頼が向上した。 ・教職員が地域行事に参加することで地域との連携が強化された。 ・「つぶやき通信」を通じて児童の声を拾い上げ、心の交流が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育プロジェクト「ちょこサボin下柚木」への参加者が増加し、一体感が生まれた。 ・「TOMO共育HUG」活動で児童の声を拾い上げ、心の交流が図られた。 ・登校の見守りにより子どもの安心安全が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の授業改善に向けた取り組みが進化した。 ・「家庭学習の手引き」を発行したことで、家庭学習が定着した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区懇談会を地域と合同で実施し協力意識が高まった。 ・教職員の「地域」への関心が深まった。 ・漢検や英検を実施し、生徒の学習意欲が向上した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の活動の学校カリキュラムへの組み入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものためになる教育活動の展開及び組織の拡充。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理組合以外の地域の自治体的な組織がないため、児童に関わる活動が行われていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の資質向上及び在り方の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精度の高い学校関係者評価の体制づくり。 ・地域が連携した防災体制の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導に活用するための地域の声を把握。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区による学校運営協議会実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援者や組織のリストを作成し、人材バンクの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に対する支援体制の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の具体的な進め方についての理解と啓発。 ・「第一中学校関連団体連絡協議会」の効率的運用。 ・「一中の防災について考える会」の設置。 ・自習教室の支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会合毎にテーマを設けて熟議の場を設定。 ・「地域交流の部屋」の充実とPRのための組織の立ち上げ。 ・地域の各諸団体との防災訓練の実施。

指定	平成22年度指定					
	第七小学校	館小・中学校	加住小・中学校	愛宕小学校	浅川中学校	松木中学校
目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を生かした教育活動の推進。 ・安全安心な教育環境づくり。 ・学校評価の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の連携をより強くする。 ・学校と地域が導標とすべく「校訓」を制定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域運営学校を基盤とした小中一貫校として、9年間を通じた教育の推進。 ・特色ある取組を、学校、保護者、地域の連携の中で推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育充実のため支援。 ・地域団体と緊密に連携を図る。 ・子どもたちの健全育成。 ・震災時の学校の役割を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の活動の土台づくり。 ・学校支援活動の充実。 ・学校評価アンケートの結果、意見を反映した学校改善の取組。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者が責任を持って学校教育に参画し、学校支援を行っていく教育基盤づくりの推進。 ・地域と連携した防災対策。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開や行事への参加。 ・道徳授業地区公開講座、セーフティ教室への参加。 ・環境整備（学校美化活動への参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア等の人材育成。 ・校訓の制定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上、スクールファームの取組を地域と連携して実施。 ・災害発生時要綱作成委員会の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校コーディネーターを中心とした学校支援。 ・漢検の実施。 ・防災訓練の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート、授業評価の実施。 ・学校運営協議会だより等広報活動の充実。 ・漢検等の学習支援実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域合同避難訓練及び地域祭り「浄瑠璃祭り」の実施。 ・全教職員との面談を実施。 ・中学校区合同視察実施（宮城県教育委員会等）
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座やセーフティ教室の意見交換会に学校運営協議会委員が参加し、子育て支援の輪が拡大した。 ・教職員の地域行事への参加が増加し、地域との連携が強化された。 ・子どもたちへのあいさつの励行などにより基本的な生活習慣が定着した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部と中学部の連携が強化され、子どもたちの交流が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災体制の構築により地域と学校の連携が強化され、地域住民の学校を支える雰囲気が増加した。 ・全教員が共通認識を持つての授業づくりが行われた。 ・スクールファームを中心として人の輪が拡大し、地域の一員としての意識が子どもたちに広がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と地域が連携して子どもを育てることの重要性が再認識された。 ・保護者や地域のボランティアによる授業補助、読み聞かせ、漢検などの学習支援により、子どもたちの学習への興味関心が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あさかわ支援の会」と協働して、ボランティア活動を実施し、協働した活動が展開できた。 ・学校アンケートの結果を教職員と学校運営協議会委員でまとめ、改善に向け協力して取り組んだ。 ・「あさかわ支援の会」による教育環境の改善により、生徒の学習意欲が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災会議を毎月1回実施し、防災という視点から地域との協力体制を構築した。 ・「浄瑠璃祭り」を通して、地域とのつながりが深まった。 ・地域運営学校の教員としての意識が向上した。 ・教育課題分科会を設定し、新たな視点を取り入れた授業を展開できた。 ・生徒達が「浄瑠璃祭り」にボランティアとして参加するなど、地域の諸活動に積極的に関わりを持つことができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材発掘。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協力した防災体制の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の意見を学校教育活動へ反映。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる保護者や地域の参画意識の向上。 ・学校、保護者、地域住民と共に子どもたちを育てていくという主体的な参画意識の高揚。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援活動の充実。 ・広報活動の充実。 ・小中学校区が連携した活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松木地区学校運営協議会の活動を活性化すること。 ・PTA活動の充実のための支援。 ・多摩ニュータウン地区の学校運営協議会との連携。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会の設置及び活動の充実。 ・人材バンクコーディネータの有効活用。 ・子育てに対する悩みや不安等の解消につながるネットワークづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの防災訓練実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援コーディネーターのネットワークの構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に参画できる機会の確保。 ・漢検の実施。 ・創立20周年記念「あたごCamp20」を企画実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あさかわ支援の会」の自主運営。 ・学校運営協議会だよりやホームページの自主運営。 ・小中学校区の学校運営協議会の交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学びや体験活動の推進。 ・松木地区学校運営協議会としての活動目標を設定。

指定	平成23年度指定			
	長房小学校	南大沢小・中学校 柏木小学校	松木小学校	長池小学校
目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・先進校視察等により情報収集と分析、活用を図る。 ・農作業体験や園芸活動等の体験活動の導入。 ・夏休み学習サポーター制度導入。 ・地域への広報活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力の向上。 ・特別支援教育の周知、地域の体制づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者が責任をもって学校教育に参画し、学校支援を行っていくための教育基盤づくりの推進。 ・地域連携の強化。 ・地域防災組織の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に即した学校運営協議会のあり方。 ・地域防災組織の構築。 ・地域連携の強化。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市立新町小学校を視察。 ・様々なボランティアの活用による学校支援。 ・広報誌「山椒」を年間5号発行。 ・長房ファームの運用。 ・「端午祭り」「いちよう祭り」「夏祭り」に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはようコミュニケーションデー」「しゃべってみよう」の実施。 ・「コミュニティ・スクール通信」(地域カレンダー)の作成。 ・地域諸団体との交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災組織を構築するため、宮城県女川町を視察。 ・「地域祭り」の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区連携のための組織構築の研究。 ・地域防災組織を構築するため、宮城県女川町を視察。 ・「地域祭り」の実施。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校だより」や運営委員会だより「山椒」を通じて活動内容を周知することにより、学校への支援者が増加した。 ・学校の年間計画の作成にあたり、地域運営学校の活動を加味するようになった。 ・子どもたちが農業体験をし、生命や健康の尊さを考えるようになった。 ・農業体験やもちつき大会により地域等との関わりが向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域へ積極的に広報活動を行い、活動内容の理解が向上した。 ・中学校区の教員間の連携意識が向上した。 ・「おはようコミュニケーションデー」活動等により、保護者や地域とふれあう機会が増え、子どもたちの安心安全が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域祭り」の実施や防災組織の立ち上げなど、地域コミュニティの核となった。 ・地域の信頼度が増加した。 ・地域運営学校の教員としての意識が向上し、学校運営協議会の活動を意識するようになった。 ・子どもたちが「地域祭り」に参加し地域への関わりが向上した。 ・学習支援による子どもたちの学習意欲が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区合同による新しい地域コミュニティが確立され、地域連携が拡大された。 ・教職員へ地域運営学校の制度が浸透し、活動に協力するための教職員同士の連携が深まった。 ・子どもたちが「地域祭り」に参加し、地域への関わりが向上した。 ・「放課後子ども教室」や「サタデースクール」で、子どもたちの学習意欲が向上した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の年間計画と学校運営協議会の年間活動計画との調整。 ・学校ボランティアとサポーター等の人材確保と活用方法の研究。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校に対する関心が低い。 ・地域及び教職員の「学校運営協議会」に対する理解不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の支援。 ・学校運営協議会を効率よく運営させるための事務局運営。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の効率よく運営させるための事務局運営。 ・事務局の強化。 ・新しい地域人材の発掘。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・長房ファームでの農業体験を食育の学習として取り入れた年間計画。 ・農作業や園芸活動等、体験活動の充実。 ・地域への広報活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の充実。 ・広報活動の充実。 ・活動の定着と地域への普及。 ・地域の中での教育活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災組織の構築。 ・事務局組織の充実及び円滑な運営。 ・多摩ニュータウン地区の学校運営協議会との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災組織の拡大。 ・事務局組織の充実及び円滑な運営。 ・新しい課題を追求できる組織構築。 ・防災組織のリーダー育成。

指定	平成24年度指定			
	横山第一小学校	上川口小学校	恩方中学校	由木中学校
目標等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を中心とした連携協力体制の構築及び活動の企画実施。 ・児童の課題及び教育活動について共通理解を図る。 ・情報交換や意見交換の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営の共通理解。 ・保護者や地域への周知。 ・組織基盤づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域と共に歩む学校」づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童及び保護者から選択される学校を目指すこと。 ・学校改善を組織的、計画的に進めるための方針の策定。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・漢検の実施。 ・放課後子ども教室の発展と充実に向けた協議。 ・地域運営学校便り「横一スク コミュニ」の発行（7回発行） 	<ul style="list-style-type: none"> ・帝京八王子高校施設見学。 ・上川地区防災検討委員会の立ち上げ。 ・防災研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ボランティアの立ち上げ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上のための適切な提言。 ・平成26年度実施の修学旅行等の取扱業者選定。 ・教員の学習指導と評価。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベント等の実施について保護者の期待感が向上した。 ・教職員によるイベント企画に参加者が増え、地域との新たな関わりが生み出された。 ・漢検の実施により、子どもたちの学習意欲が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画を協働して検討し、連携意識が向上した。 ・地域の行事に参加する教員が増加し、連帯意識が向上した。 ・地域の協力によるサマースクール等、学習支援により子どもたちの学習意欲向上が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が情報発信に努めたことにより、地域が学校活動を意識するようになった。 ・教職員が地域と一体化することの重要性を認識した。 ・地域に見守られていることの認識が向上し、生徒の安心安全が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA運営委員会等で随時、状況を報告したことで、活動についての理解が向上した。 ・教職員が保護者や地域の教育活動への支援を認識するようになった。 ・教員の意識変化から、生徒の学習意識が高揚し、家庭学習が定着した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの柱（学力・体力・イベント）の実働組織の構築と活動の充実。 ・教職員の参画意識の高揚。 ・地域人材の発掘と活用。 ・保護者、地域への周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の充実。 ・地域運営学校の役割と機能の周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のニーズと、地域の協力の方向性のズレの修正。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者及び地域住民と学校との連携。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの柱の充実に向けた具体的活動の企画、実施。 ・人材の発掘と実働組織体制の構築。 ・周知向上手段の開拓。 ・放課後子ども教室の活動を充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の情報発信。 ・地域と連携した児童の健全育成。 ・地域防災訓練の実施。 ・学校支援活動の実践。 ・学校と一体化した組織運営。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数回の分科会の実施。 ・「地域と共に歩む学校」のより一層の定着。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業見学や教職員との懇談等を実施し、教育活動の現状や課題を把握。 ・保護者と学校との連携。 ・近隣小学校への情報提供と連携。